

広報 小田原

まちづくり情報誌 City of Odawara Public Relations

2013
6
1日号

No.1084
月2回：1日・15日発行

健康な体をいつまでも

いそしぎ ストレッチ教室

自分のため、家族のため
健康管理に努めましょう

P.02

P.06 環境再生プロジェクトの
取り組み

P.10 地域を支える自治会

P.12 おだわら情報

P.14 〈連載〉ケアタウンの輪

〈連載〉今月の笑顔

P.15 〈連載〉梅花ちゃんと黒松おじいさんの社会科見学

P.16 〈連載〉私のおススメ☆あなたのおススメ

自分のため、家族のため

健康管理に努めましょう



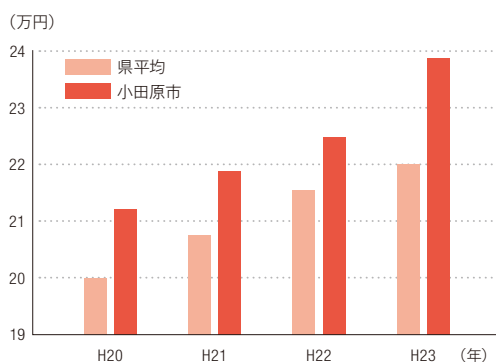
皆さんは日頃から、健康のために心掛けていることはありますか？
市では、市民が「自分の健康は自分で守る」という健康への自覚と認識を深め、生涯にわたり心身の健康づくりに努められるよう支援しています。
市民一人一人が健康で過ごすことは、年々増加傾向にある医療費の抑制にもつながります。さまざまな健康教室などに参加したり、市が実施する特定健康診査なども積極的に利用し、自分にできることから始めましょう。
自分のため、家族のため、健康について考えてみましょう。

問 保険課 ☎33-1845 健康づくり課 ☎47-0820

市民の健康は、大丈夫？ 小田原市の医療費・保険給付費の現状

市の国民健康保険の一般被保険者一人当たりの医療費は、過去4年間、県の平均を上回り、平成23年度は、23万8538円で、県内で最も高額となっています。

国民健康保険一般被保険者一人当たりの医療費

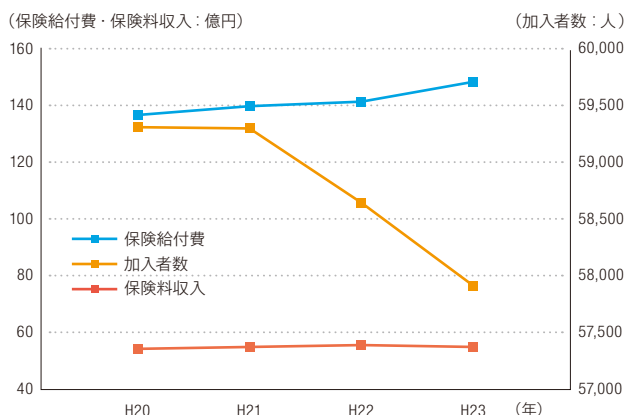


※ 病院などで受けた治療にかかる金額で、ギプスなど装具を製作した費用や、出産育児一時金などは含まれていません。

市の国民健康保険加入者が医療を受けた際に保険から支払われる金額（保険給付費）は年々増加し、国民健康保険の予算額は200億円を超えています。一方、国民健康保険の運営に使われる保険料収入は、加入者が減少していることもあり、横ばい状態が続いています。
保険料収入が伸び悩む中、医療のため

に支払われる金額は増加しており、ここ数年、国民健康保険の運営は厳しい状態が続いています。

保険給付費・保険料・国民健康保険加入者



医療費が増えと…

国民健康保険加入者が医療機関にかかったときの医療費は、医療機関で支払う一部負担金と、加入者の保険料、そして、国・県・市の負担金で賄われています。

このまま医療費が増え続けると、国民健康保険の運営はさらに厳しくなり、加入者の保険料や、国・県・市の負担が一層大きくなります。

健康のため、 自分でできることから 始めよう

増え続ける医療費を減らすためには、市民一人一人が健康管理に努めることが大切です。それは、自分のため、家族のためでもあります。

市では、健康な市民が増えるよう、健康管理に役立つ教室や健康相談への参加、各健診（検診）の受診を呼びかけています。それらを上手に活用し、心身ともに健康を保ちましょう。

また、病気を早期に見出し、治療がしやすくなるよう、健診（検診）を早めに受診しましょう。

かかりつけ医を持ちましょう

「かかりつけ医」とは、日常的な診療や健康管理などを行う身近な医師のことです。健康を維持するために効果的です。

「かかりつけ医」のいいところ

- 大病院と比べ待ち時間が短い。
- 入院や検査が必要な場合、適切な病院、診療科を紹介。
- 家族の病状や病歴、健康状態なども把握。
- 食事面など、日常の健康管理についてのアドバイス。

また、同じ病気やけがで複数の診療機関を受診すると、薬をもらい過ぎたり、必要以上に医療費がかかってしまうことがあります。「かかりつけ医」を持つことで、それらを減らすことにもつながります。

ジェネリック医薬品 (後発医薬品)を活用しましょう

「ジェネリック医薬品」は、最初に作られた薬（先発医薬品）と有効成分、用法・用量、効能および効果が同等で、先発医薬品より安価な医薬品です。

「ジェネリック医薬品」に変更できる場合がありますので、薬を処方してもらう際、医師や薬剤師に相談してください。

受診しましょう！

特定健康診査・長寿高齢者健康診査

毎年定期的に受診することで、健康への意識を高め、健康状態の把握に役立てることが出来ます。また、メタボリックシンドロームの予防や、生活習慣病などの早期発見も期待できます。

高血圧、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病は、慢性化してからは治療に時間がかかるだけでなく、医療費負担も大きくなりますので、定期的に健康診査を受けましょう。

実施期間 6月1日～平成26年3月31日
対象者

- (特定健康診査) 国民健康保険に加入している40～74歳のかた
- (長寿高齢者健康診査) 神奈川県後期高齢者医療制度に加入しているかた

がん検診

実施期間 6月1日～平成26年3月31日

対象者

- (胃がんリスク検診) 今年度、40・45・50・55・60・65・70歳になるかた
- (胃がんバリウム検診) 40歳以上で、胃がんリスク検診の対象者以外のかた
- (前立腺がん検診) 50歳以上の男性
- (大腸がん検診) 40歳以上のかた
- (肺がん検診) 40歳以上のかた
- (乳がん検診) (視触診のみ) 40歳以上で、今年度、奇数歳になる女性
- (マンモグラフィ検診) 40歳以上で、今年度、偶数歳になる女性
- (子宮がん検診) 20歳以上の女性

成人歯科健診

実施期間 6月1日～11月30日

対象者

- 今年度、40・45・50・55・60・65・70・75・80歳になるかた

※特定健康診査、長寿高齢者健康診査、がん検診、成人歯科健診の対象者には、各種受診券を送付しました。

※対象者は、一般的な検診よりも安い自己負担金(長寿高齢者健康診査はなし)で検診を受けることができます。

※実施医療機関や、自己負担金については、健康づくり課(☎47-0820)にお問い合わせください。



トップページ上の「暮らしの情報」をクリック↓「福祉/健康/介護」の「健康づくり」



各種教室・健康相談を
ご利用ください

健康について学んだり、体を動かす各教室は、健康づくりのきっかけとなり、健康管理に役立つだけでなく、健康について気軽に話せる仲間づくりの場にもなっています。

健康について悩みを持っているかたには、健康相談もあります。

健康増進教室

問 健康づくり課 ☎47・0820

医師の講演会や運動教室、栄養教室（調理実習）など、年に10回程度開いています。



栄養教室

教室ごとに健康テーマを設定していますので、ご自身の健康状態に合わせて参加することができます。

講演会



生活習慣病予防教室

問 健康づくり課 ☎47・0820

医師、保健師、栄養士、健康運動指導士などの専門家が、5日にわたり健康づくりを支援する教室です。

生活習慣病
予防教室



生活習慣を見直し、生活における行動目標を設定。目標達成のための方法を専門家と一緒に考えるなど、3か月かけ、じっくり取り組んでいきます。

生活習慣病予防教室参加者
皆さんにも参加してもらいたい



ゆくお雄さん
原征子さんご夫妻

妻の誘いで参加しました。小田原市は県内で脳疾患の死亡率が高いことを知り、ウォーキングや食事制限、教わった簡単な体操に取り組みました。生活にめりは

65歳からの筋トレ教室

問 高齢福祉課 ☎33・1825

65歳以上のかたを対象に、体力の維持・向上を目的として、ストレッチなどを集団で行う「ストレッチ教室」「トレーニングマシンを使った「マシン教室」」があります。

1コース3か月間で、小田原アリーナといそしぎで開いています。

※年4回（5・8・11・2月）、「おだわらいふ」で募集しています。

「おだわら百彩」を知っていますか？

問 健康づくり課 ☎47-0820

「おだわら百彩」は、みかんやめだか、太鼓、ちょうちんなど、小田原の特徴を取り入れた市民体操です。

公共施設などで行われる講習会には、保健師が市民体操指導員のかたと一緒に出向いています。日頃使っていない筋肉を伸ばしたり、動かしていない関節を広げたり…一汗かいて、リフレッシュ。気軽にご参加ください。



市民体操講習会のようす
小田原アリーナ、いそしぎで、月に1回ずつ講習会を開いています。

※ 日程は、「おだわらいふ」、健康カレンダー、市ホームページをご確認ください。

元氣な命を守り育てるために

小田原市長 加藤憲一

小田原市は、市政運営の筆頭課題に「いのちを大切に
する小田原」を掲げています。厳しい財政状況にあっても、
市民のいのちを健やかに守り育てるため、教育、福祉、
そして医療といった分野には、しっかりと資源配分を行っ
ていくという宣言でもあります。

とりわけ、市民一人一人がより元気であり続けるには、
健康を大きく育てるための「健康づくり」と、病のリスクを
できるだけ小さくする「予防」、疾病やけがなどの影響を
最小限に留める「医療」を、それぞれにしっかりと推進す
ることが重要です。

「医療」については、市立病院にて一時期深刻だった医
療人材不足に対し、その解消に向けて懸命な努力を重ね
てきています。その結果、内科系のいくつかの診療科に
おいてまだ不足感があるものの、医師および看護師の体
制はかなり充実してきています。また、心臓血管外科など、
より高度な手術などが可能な設備の導入も進めています。
さらに、急性期および高度医療を専門とする市立病院と、
各分野の専門性をもち地域密着で医療活動を行っている
小田原医師会加盟の医療機関の皆さんとの連携も進んで
きました。

「予防」に関しては、各種予防接種における公費負担の
適用範囲を広げてきており、25年度からは「高齢者肺炎
球菌ワクチン」も対象に加える他、主要な死因でありなが
ら検診受診率の低い胃がん検診に関し、採血だけでリス
ク判定ができる「胃がんリスク検診」への公費助成も始ま
ります。

そして、「健康づくり」では、これまでに策定された「食
育推進計画」や「健康増進計画」などを受け、市民生活
の中で取り組めるさまざまなアクションを、全市的に進め
ていくこととなります。加えて、シニア層の皆さんがいつ
までも現役で元気に活躍していただけるよう、「プロダクティ
ブ・エイジング（創造的に歳をとる）」の取り組みや、市民
の誰もが日常的に体を動かすよう、ウォーキングとランニ
ングのまちづくりも進める予定です。

市民のいのちがより健やかになることは、医療費の減少
を通じ、市財政の健全化にもつながり、ひいては市として
の財政余力を生み、現状では取り組めていない課題への
着手や、サービスの充実も可能になっていきます。つまり、
一人一人が元気になることは、いろいろな意味で小田原が
よりよいまちになっていくことに帰結するのです。

すこやか健康相談

問 健康づくり課 ☎47-08820

毎月1回保健センターで、保健師や栄
養士が、個別に日常的な健康の悩みを伺
います。ご家族の健康についても相談で
きます。

はつらつ健康相談

問 健康づくり課 ☎47-08820

公民館や公共施設を利用し、健康相談
会を実施しています。身長、体重、体脂
肪、血管年齢、血圧などの測定ができ、
健康の悩みについて、保健師や栄養士に
相談できます。

各地区で健康づくり

各地区では、健康おだわら普及員や食
生活改善推進委員、市民体操指導員な
ど、地域のかたたちが、さまざまな教室
を開いています。また、イベントなどで
血圧測定のコナーを設けたり、健康づ
くりに必要な情報を掲示したり、地域住
民の健康管理を手助けしています。



地区のバザーで、身近な食
品の塩分を掲示し、健康づ
くりを啓発

各地区で活躍中！
健康おだわら普及員

行っています。

■ 秋山道江さん（写真右）

「皆さんが少しでも健康について考え、
自分の体を気遣うきっかけになればう
れしい」

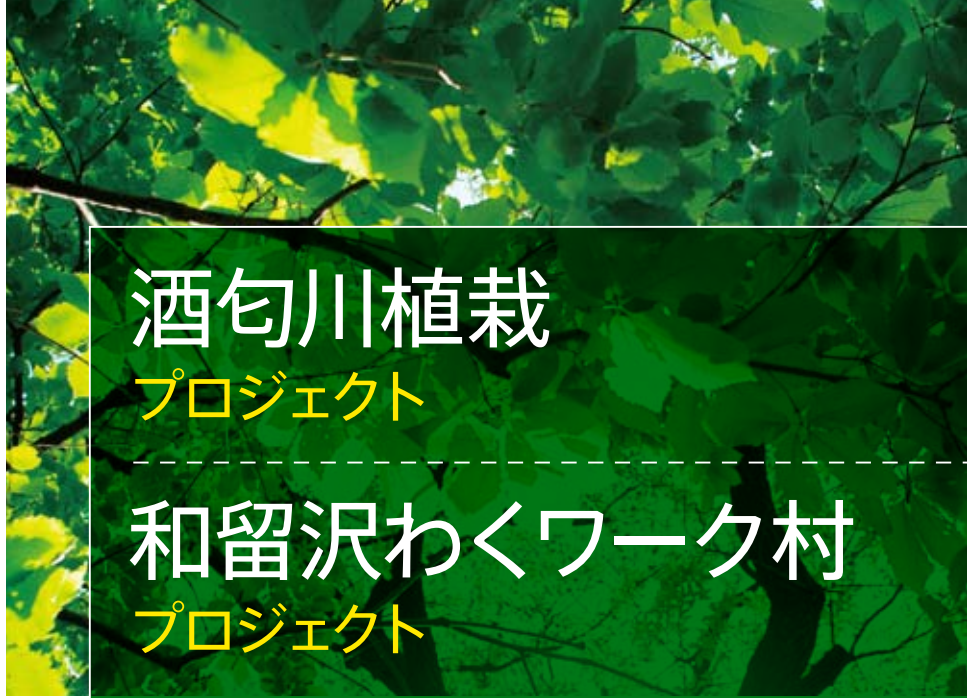
■ 田中由美子さん（写真中央）

「普及員の存在はまだ知られていない部
分も多いので、もっと皆さんに知っ
てもらえるよう活動したい」

■ 林陽子さん（写真左）

「今まで知らなかったことも学び、いろ
いろな人と関わり、視野が広がってい
ます」

自治会長の推薦で任命される「健康おだ
わら普及員」。月1回程度、普及員を対象
にした講習を受け、地域のイベントなど
で、健康への意識を高めるための活動を



酒匂川植栽 プロジェクト

和留沢わくワーク村 プロジェクト

環境再生プロジェクトの取り組み

身近な環境を、市民の手で守り育てる「環境再生プロジェクト」。その活動の一部を紹介します。

問 環境政策課 ☎ 33-1473

環境再生プロジェクトとは…

「環境再生プロジェクト」は、身近な環境を市民の手で守り育て、市全体の環境改善につなげていこうとする市民主体のプロジェクトです。

市内各所で、河川や森林、荒地などの環境を改善する取り組みが進んでいます。

これらの取り組みを多くのかたに知ってもらうこと、また、一人でも多くのかたに参加してもらうことは、プロジェクトの活動の広がりや、その他の新しい活動が始まるきっかけとなっていくきます。

市では今後も「環境再生プロジェクト」を推進していきます。

環境再生 プロジェクト

身近な河川

南鴨宮・下菊川、酒匂川

地域資源

根府川・白糸川

身近な森林

久野、荻窪

環境情報

おだわらグリーンマップ

身近な荒地

久野・^{わるさわ}和留沢



■ 下菊川こいのぼり
(菊川鯉のぼり実行委員会が行っている活動)



■ おだわらグリーンマップ
(市内の環境団体の活動を中心に掲載)



■ 小学生の間伐体験
(環境関連団体との協働による活動)



みんなのちからで 母なる川・酒匂川をきれいに 酒匂川植栽プロジェクト

酒匂川左岸の小田原大橋近くの土手に、自治会を中心とした地元の方々と、小学生、近隣企業、市内で活動する市民団体、市が協力し、シバザクラとマツバギクを植栽するプロジェクトが平成23年度から始まりました。「みんなのちからで 母なる川・酒匂川をきれいに」を合い言葉に、地域ぐるみで除草作業などを行い、春には見事に花が咲き誇りました。

同プロジェクトでは、さらに参加者を募り、活動を広げていきます。

小田原市

夢が咲く・マイ花壇制度
オーナーを募集します！

市では、酒匂川植栽プロジェクトで、一緒に花壇を維持・管理していただけるオーナーを募集します。多くのかたに参加いただき、酒匂川を花々で彩りましょう。

対象者

- 市内在住・在勤・在学の個人
- 市内に事業所を有する事業者
- 主に市内で活動する市民団体 など



植栽のようす (平成23年)

作業内容

- マイ花壇の草取りや花の補植
- 植栽イベントへの参加

※ 花の苗、維持管理に必要な物品は、市が支給・貸与します。

(種類、数に限りがあります)

申し込み

「小田原市夢が咲く・マイ花壇制度申請書」に必要事項を書いて、環境政策課に直接提出してください。申請書は、市役所支所・連絡所で配布している他、市ホームページからもダウンロードできます。

平成24年度に「マイ花壇制度に登録しました」

「守ろう地域の自然」

富士見小学校 6年生

昨年、総合学習で、地球温暖化を防ぐ取り組みを行いました。その取り組みの一つとして、酒匂川植栽プロジェクトに参加しました。春に、ピンクのきれいな花が咲いているのを見て、とてもうれしくなりました。今後も、学校全体で、地域の環境、自然を守る取り組みを、続けていきたいと思ひます。



「見た人が笑顔になれば」

小田原ガス労働組合

弊社もおかげさまで100周年を迎え、地域密着企業を目指す企画の一つとして応募しました。組合員のコミュニケーションも、今以上に図ることができ、家族や子どもたちにも、この活動について伝えていきます。多くの企業や市民が参加し、河川敷の一面に花が咲くことで、その光景を見た人が笑顔になって、一瞬でも幸せな気持ちを持ってくだらいいと思ひます。



和留沢わくワーク村プロジェクト



平成23年度からは、そばや小麦、ハーブの栽培に試験的に取り組んでいます。楽しく活動ができる地域の場づくりを目指し、平成24年に「和留沢わくワーク村実行委員会」を設立。より多くのかたに和留沢の魅力を知ってもらおうと、じゃがいも栽培体験やきのこ栽培を行っています。

メンバーを募集しています！

実行委員会では参加メンバーを募集しています。農地の開墾から作物の収穫、遊び場づくりなど、ふだんはできない作業を体験できます。和留沢の地域づくりのアイデアをお持ちのかた、土いじりが好きなかた、自然に親しむ機会をお探しかたをお待ちしています。

標高約440メートルの、久野の和留沢地区。見晴らしがよく、市内が一望できる場所です。晴れた日には、遠く江の島や三浦半島を望み、夜には、満天の星空と小田原の夜景を楽しむことができます。

市では平成22年度から、和留沢地区の耕作放棄地(約1万3000平方メートル)の再生に着手。地元自治会有志や環境活動に関心のある市民と協働で、荒廃農地再生のモデルとなる取り組みとして、開墾整備に着手しました。「森の手入れをしたい」、「地域の豊かな資源を活用していきたい」、「過疎化の進む地区に人を呼び込みたい」といったそれぞれの思いを共有し、広める活動を進めています。



じゃがいも畑

じゃがいもの収穫祭 in Warusawa

3月に植え付け、その後、土よせ(作物の周りに土を寄せ、発育を促進)や草取りなどを行ってきたじゃがいもの収穫祭を行います。

日時 7月6日(土) 午前9時~12時頃

場所 久野地内(和留沢わくワーク村)

参加費 市役所から車で20分程度

500円(じゃがいものお持ち帰りがあります)

申し込み 7月3日(水)までに

環境政策課(☎33-1472)に電話で。

収穫体験に参加して…

山奥の開墾した畑で汗をかく時間は、とても心地よいものでした。土を触るといのは不思議なもので、懐かしい気持ちになります。広い青空を見上げて、日常からタイムスリップしたようでした

いのししよけの鉄の棒を曲げるのが楽しかったです

HOME PAGE
トップページ上のバー「暮らしの情報」をクリック↓「環境」の「環境トピックス」

和留沢わくワーク村実行委員会

「楽しく奮闘中」

和留沢わくワーク村実行委員長
近藤忠さん



名に込められた意味は=わくわく!+ワーク(たのしく&働く)です。めいっぱい遊びつつ“労働も”それでいて、楽しくおいしく“でも何かを学びながら”自然や人との関わりを大切に…。そんな延長線上で地域活性、荒地再生に取り組んでいます。農作物が思うように収穫できないつらさも経験してきました。が、めげずに奮闘努力中です。

障がい者の皆さんが、さまざまな石鯿の製作、販売を行っている、株式会社リンクラインも参加しています。

株式会社リンクライン 代表取締役
神原 薫さん

体を動かすことが大好きな障がい者が活動できる場所、石鯿づくりに使うハーブを作ることができる場所として、耕作地を活用していきたい。そんな思いでこのプロジェクトに参加しています。

私たちを取り巻く環境 大気・水

6月は環境月間

私たちを取り巻く、大気・水・土・音…。

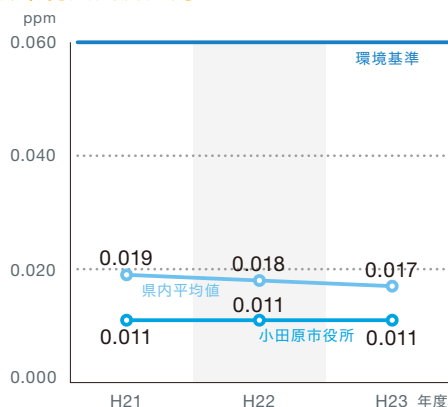
6月は環境月間です。身の回りの環境について、改めて考えましょう。市では、市民の健康と豊かな自然環境を守るため、市内の大気・水質・土壌・騒音・振動・悪臭など、さまざまな環境分野の監視や改善指導を行っています。 問 環境保護課 ☎ 33-1483

〉小田原の大気

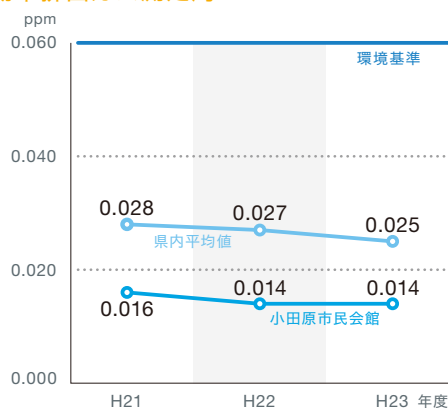
市内の大気の状態は、二酸化窒素など各監視項目が、環境基準を大きく下回る良好な値で、安定して推移しています。

■大気中の二酸化窒素経年変化 (一般環境大気測定局・自動車排出ガス測定局)

一般環境大気測定局



自動車排出ガス測定局



平成23年度から測定している市内の空間放射線量率も、全ての測定地点で、減少傾向にあります。

また、今春、中国で微小粒子状物質 (PM2.5) による大気汚染の状況が深刻となり、日本でもPM2.5濃度の上昇が観測されました。PM2.5による大気汚染への関心が高まっています。

PM2.5濃度は、県や、大気汚染防止法を所管する横浜市、川崎市などが監視を行い、速報値を県のホーム

ページなどでお知らせしています。県西地域では小田原市役所に測定器が設置されています。県から高濃度予報が出た場合、市では、防災行政無線やホームページなどでお知らせしていきます。



微小粒子状物質 (PM2.5) 濃度の測定器

〉小田原の水質

市では、水質汚濁防止法に基づき、市内の河川・海域・海水浴場および地下水の水質調査を行っています。さらに、その他にも調査地点を設け、水質を監視しています。また、定期的に工場などの立ち入り検査を行い、排水の検査と指導、水質事故の防止に努めています。

市内の河川は、下水道や合併処理浄化槽の普及、工場排水の規制強化によってきれいになってきています。支流を含め8地点で調査をしている酒匂川では、過去5年間のBOD (河川の汚れ具合の指標となる項目の一つ) は、環境基準を下回る値です。

〉一人一人の心掛け

良好な大気環境を維持するためには、自動車の排気ガスなどの汚染物質の排出を抑制することが重要です。電車やバスなどの公共交通機関を利用し、車を購入する際は低公害車を選択するなど、汚染物質をできるだけ排出しないようにしましょう。

現在、水質汚染の大きな原因は生活排水であるといわれています。家庭から出る生ごみや油を直接流さないよう、生ごみ受けの工夫などに努めましょう。また、農薬を川へ流すと魚などへ被害が及ぶ事故の原因となりますので、絶対にやめましょう。

地域を支える自治会

自主的な活動で住みよいまちに

自治会は、私たち住民が地域で仲良く助け合って暮らそうと、自主的に作られた組織です。自分たちのまちを自分たちでよくしようと支え合いながら日常生活に不可欠な活動をしています。

問 地域政策課 ☎ 33-1457

日常生活を支える活動

回覧板による情報提供の他、防犯灯やごみステーションの設置・管理といった、誰もが日常生活を送るうえで欠かせない活動をしている自治会。

防災面では、地震や洪水などの災害時に避難所となる「広域避難所」の開設や、地域で助け合う「自主防災組織」の活動も、自治会長を中心に行われます。日頃から顔の見える関



小田原市自治会総連合では、毎年夏に、総合防災訓練を行っています。消火器の使い方をはじめとする体験型の訓練を行っています。

係が築かれてこそ、いざという時に安否確認が可能となるため、地域の行事などを通じて親睦を図ることが重要になります。

「自治会に加入するとどんなよい点があるのか分からない」という声が聞かれることがありますが、自治会では、地域の実情に応じた事業を運営することで、安全・安心な地域を築こうと活動しています。

自ら ハンドブックを作成

日頃、自治会長は一人でも多くのかたに自治会に加入してもらいたいと、住民の皆さんに呼びかけています。市内の世帯数は核家族化で増加していますが、自治会加入世帯数は大



ハンドブック

きく変化せず、加入率は次第に下がっています。このような状態が続くと、活動や費用面で加入者の負担が増すだけでなく、将来、自治会を運営する担い手が不足するおそれがあります。

そこで、小田原市自治会総連合では、今年に入って『自治会加入促進ハンドブック』を作成。「住みよいまちは地域から」という思いから作られたハンドブックには、活動の現状や地域に住むかたの声を紹介されています。

ハンドブック作成に込めた思い

昨年、自治会総連合は、創立50周年を迎えました。記念の年を迎え、加入促進を軸とした、ホームページやチラシなどを作成。日頃、各自治会が課題としている「新会員の勧誘の難しさ」や「加入者の減少」に焦点を当てた活動を行いました。

「加入促進ハンドブック」は、自治会加入に関するアンケート結果や、参考となる加入促進の事例を載せました。さまざまな工夫を凝らしたことで、他市町村の自治会からも多くの問い合わせをいただきました。

木村会長は「皆さんが自治会に加入することで、将来にわたって『住みよい地域』であり続けてほしい」と自治会活動の活性化を願っています。



小田原市自治会総連合会長
木村秀昭さん

富士見地区 自治会連合会発足

4月1日、南鴨宮1区～5区自治会が「富士見地区自治会連合会」として発足しました。

28年前に富士見小学校が開校してから、次第に人口が増えてきた地域で、長年にわたり「地域に密着した自治会活動」の在り方を検討してきました。

平成23年から新設の気運が高まり、下府中地区自治会連合会からの巢立ちとなりました。「発足は、下府中地区自治会連合会をはじめ、地域の団体や行政の協力があって実現したものだ」と関野会長は話します。

「今までよりも小規模な自治会連合会となり地域に密着したきめ細かな活動をしていきたい」と防犯・防災・交通・環境など、地域でのさまざまな取り組みに思いを巡らせます。



富士見地区自治会連合会長
関野次男さん

平成25年度 自治会長名簿

小田原市自治会総連合 役員 敬称略、太字は自治会連合会長（6月1日現在）

会長 木村秀昭 副会長 瀬戸充、栢沼行雄 会計 木村貞雄

理事 飯田和男、福田光好、市川勇、柏木茂高、岩切信一郎 監事 瀬戸衛、窪田寛、椎野禎章

連合名	自治会名	会長名	連合名	自治会名	会長名	連合名	自治会名	会長名	連合名	自治会名	会長名	
緑	第1区	飯田晁巨	芦子	荻窪	田嶋邦典	桜井	東栢山中の町	田原隆	上府中	永塚	秦昇	
	駅前第2区	鈴木睦雄		上谷津	磯崎透		東栢山学校前	窪田寛		東大友	飯田強	
	第3区	松下弘		中谷津	村野芳一		東栢山城北	近藤赳夫		西大友	古宮佐平	
	浦町	土谷正光		下谷津	奥津和彦		東栢山道下	高井一義		延清	加藤隆司	
	第4区	河鍋兆男		入谷津	八田迪男		東栢山道上	宮内宏人		曾我	上曾我	長田尚夫
	第5区	濱野浩		池上	市川勇		柳町	大田原文明		中河原	栢木茂高	
	竹花	瀬戸衛		二川	井細田一区		椎野勝幸	西栢山		杉崎健一	下大井	満田勝
	銀座	高梨保夫		第43区	鈴木實		栢山清流荘	川上哲朗		鬼柳	宇佐美安正	
	台宿	市川幸男		第44区	下田誠一		弥生	小川潤		曾我大沢	徳田光行	
	大工町	吉村順一		小田原	グリーンタウン		原田育生	酒匂・小八幡		酒匂1区	須藤光雄	春木住宅
新玉	第9区	橋山明充	久野	宮本	湯川増夫	酒匂2区	山口洋一	籠場住宅	土屋勇			
	第10区	土屋裕利		坂下	倉石喜七郎	酒匂3区	太田実	花里住宅	大野昭			
	第11区	飯田和男		京福台	北誠一郎	酒匂4区	小野寺稔	下曾我	曾我原	曾我祐行		
	第12区	西山洋一		下宿	皆木孝常	酒匂5区	田中一吉	曾我谷津	神保雅巨			
	第13区	池田尚文		久野中宿	三橋茂	酒匂6区	大川憲治	曾我岸	湯川誠一			
	新宿	山崎純一		星山	早泉淳三	酒匂7区	二見昌一	曾我別所	中村隆夫			
	第15区	石黒孝一		中久野	原田幸雄	酒匂8区	大木徹	曾我神戸	岩切信一郎			
	第16区	岩本辰男		三国	瀧井芳靖	酒匂9区	川戸真一	曾我山岸	早野司朗			
	第17区	中良卓司		留場	駿河寛	酒匂10区	上柳直也	国府津	国府津第1区	松本今朝臣		
	第18区高梨町	加藤芳永		坊所	星野典久	酒匂11区	上田光男	国府津第2区	関野英夫			
万年	第19区	小高伯夫	欠ノ上	星野典和	酒匂12区	深田脩敬	国府津第3区	朝倉知				
	第20区-1	望月郁文	舟原	下田三登志	酒匂13区	寅田賢一	国府津第4区	山田廣海				
	第20区-2	湯川浩司	諏訪の原	折橋雅春	酒匂14区	澤井俊夫	国府津第5区	石塚勇				
	幸	第21区	桑原義樹	和留沢	杉崎明	酒匂15区	野間良晴	国府津第6区	高橋正則			
		第22区	内山宏	小田原	荻原秋廣	酒匂16区	津村泰行	国府津第7区	佐藤哲男			
		第23区	栗山茂男	サニータウン	東富水	蓮正寺第1	木村貞雄	国府津第8区	木村宗嗣			
		第24区	山口芳司	蓮正寺第2	土屋皓	蓮正寺第2	土屋皓	国府津第9区	向尾恭政			
		第25区	内田孝	蓮正寺第3	加藤英二	蓮正寺第3	加藤英二	国府津第10区	川口博三			
		第26区	瀬戸裕一	蓮正寺第4	永田秀夫	蓮正寺第4	永田秀夫	国府津第11区	市川昌幸			
		第27区	瀬戸充	蓮正寺第5	国原邦夫	蓮正寺第5	国原邦夫	国府津第12区	下川剛			
十字		第28区	本多孝正	蛸田駅前	夏目守康	蛸田駅前	夏目守康	国府津第13区	廣澤民男			
		第29区	福田光好	霞ノ瀬	大場ヒサエ	霞ノ瀬	大場ヒサエ	国府津第14区	野地賢二			
		第30区	佐野朝幸	狩川	林一男	狩川	林一男	国府津第15区	川口真弘			
	第31区	荒川優	蛸生会	廣重知子	蛸生会	廣重知子	国府津第16区	堀村逸郎				
	第32区	山崎時子	蓮正寺住宅	吉葉茂樹	蓮正寺住宅	吉葉茂樹	国府津第18区	伊澤二三雄				
	片浦	石橋	矢郷昌行	よし田	高橋東吾	よし田	高橋東吾	国府津第19区	小岩英雄			
		米神	松本勇	蛸田中央	前野竹巳	蛸田中央	前野竹巳	橋南	西第1区	渡邊榮次		
		根府川	廣井博直	中曾根	金子穂積	中曾根	金子穂積	西第2区	平田誠			
		江之浦	高橋照治	飯田岡東	草山俊憲	飯田岡東	草山俊憲	高橋	中宿	石塚美彦		
		早川	木地挽	大坪孝壽	堀之内	岩崎良春	堀之内	岩崎良春	向原	椎野禎章		
早稲田			石川孝史	飯田岡本村	吉澤博美	飯田岡本村	吉澤博美	町屋	遠藤剛			
向口			青木健藏	飯田岡若宮	石川重明	飯田岡若宮	石川重明	押切	峰尾寅雄			
西組			中村郁三	飯田岡飯中	奥津堅治	飯田岡飯中	奥津堅治	羽根尾	阿久津實			
中組			大津嘉久	飯田岡楠	志澤守	飯田岡楠	志澤守	JR前川アパート	川井修			
東組			浦井貫之	柳新田	小林誠一	柳新田	小林誠一	橋北	中村原第1区	石塚保国		
大窪	第58区		下川泉	小台	篠原弘	小台	篠原弘	中村原第2区	藤井貞夫			
	第59区		野崎忠	池田	中野武	池田	中野武	中村原第3区	植田昭嘉			
	第60区		風間孝男	新屋	小林清司	新屋	小林清司	中村原住宅	宮崎学			
	第61区		石幡保雄	府川	加藤紀元	府川	加藤紀元	中村原第6区	諸星勉			
	第62区	武田伸六	久所	押田勲	久所	押田勲	中村原第7区	加藤操				
	第63区	府川武	仲沢	撫井清	仲沢	撫井清	小船第1区	猪股常夫				
	第64区	秋山嘉一	北ノ窪	市川博明	北ノ窪	市川博明	小船第2区	小宮雄二				
	山王網一色	山王松原	柳下達藏	穴部	金指隆夫	穴部	金指隆夫	山西	志澤幸太郎			
		山王西	日比野正治	穴部新田	木村誠行	穴部新田	木村誠行	小竹下	志澤吉一			
		山王東	寶山正	上清水	木村秀昭	上清水	木村秀昭	小竹打越	小林ゆたか			
山王70区		讓原平海	下清水	内藤英夫	下清水	内藤英夫	小竹坂呂	黒川厚				
網一色		常盤一郎	寺下	笹沢幸司	寺下	笹沢幸司	小竹脇	深澤延弘				
足柄		第33区	石川進	高河原	西側恭二	高河原	西側恭二	明沢	秋澤輝義			
		セントラル	斎藤順治	河原庭	小林富男	河原庭	小林富男	沼代	林芳一			
		ハイツ	吉田誠	西之庭	配島佑	西之庭	配島佑	上町	小泉善一			
		第34区	吉田誠	新屋敷	米山裕	新屋敷	米山裕	橋田地共同住宅	川崎勲			
		第35区	萩原一夫	浅原	青木富雄	浅原	青木富雄	橋田地一般住宅	小澤和巳			
	第36区	曾我和夫	上原	山下皓久	上原	山下皓久	さつきが丘	稲原正次				
	第37区	川田康弘	下千代	三廻部正一	下千代	三廻部正一	湘南橋台住宅	田中正俊				
	芦子	寺町	山口真一				若葉台	片岡茂行				

平成25年度市民税・県民税（住民税）の納税通知書を発送します

今年度の市民税・県民税納税通知書を6月10日（月）に発送します。通知書には、今年度納めていただく市民税・県民税額、その額を計算する基となった平成24年中の所得を記載しています。

納付書が同封されている場合は、納期限を確認のうえ、納付してください。

平成25年度 市民税・県民税 納税通知書

平成 年 月 日

小田原市長 加藤 憲一

通知書番号

期別	納期	税額	充当額	充当後税額
第1期	平成25年7月1日			
第2期	平成25年9月2日			
第3期	平成25年10月31日			
第4期	平成25年1月31日			

課税計算明細書

区分	課税標準額	市民税	県民税	農業	医療
給与所得					
退職所得					
不動産所得					
雑所得					
合計					

【所得金額・所得控除】平成24年の1年間の所得や、所得控除の明細が表示されます。

【課税標準額】所得から控除を差し引いた残りの金額です。この額に所得の種類に応じた税率をかけて、所得割額を算出します。

公的年金からの住民税の特別徴収（天引き）について
公的年金等にかかる住民税は公的年金から特別徴収（天引き）しています。

【対象者】
昭和23年4月2日生まれまでのかた

問 市民税課 ☎33・1351

※昭和22年4月3日～23年4月2日生まれのかたは、公的年金等にかかる住民税の第1期および第2期は納付書または口座振替で納付していただきます。10月からは公的年金から特別徴収（天引き）になります。

※公的年金から特別徴収されるかたの納税通知書には、公的年金からの徴収額が記載してあります。

ご注意ください。

「公的年金等の収入額が400万円以下」で、「その他の所得が20万円以下」の場合は、確定申告の必要はありませんが、医療費、寡婦など源泉徴収票に含まれていない控除を追加される場合は、市民税・県民税申告が必要です。申告しないと、昨年と比較して市民税・県民税が増額になる場合があります。該当されるかたは身分証明書、印鑑（朱肉で押印するもの）、源泉徴収票、控除に必要な書類（医療費の領収書、生命保険料の控除証明書、地震保険料の控除証明書など）を持参し、市役所市民税課（窓口9番）で申告してください。

6月23日（日）～29日（土） 平成25年度男女共同参画週間

問 人権・男女共同参画課 ☎33・1725

「紅一点じゃ、足りない。」

「男女共同参画週間」は、男女が互いに人権を尊重しつつ、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮することができ、社会の実現を目指して制定された「男女共同参画社会基本法」の理解を深めるために設けられました。

今年度のキャッチフレーズは「紅一点じゃ、足りない。」です。少子化、高齢化、経済の再

生など、さまざまな課題の解決が迫られている今日、女性ももっと活躍すること、ワーク・ライフ・バランスを尊重し、男女の生き方や働き方を変えることなど、女性が社会のあらゆる場面に参画し、その能力を発揮することが、ますます必要とされています。

「紅一点」ではなく、多くの女性がさまざまな分野に関わり活躍することは、日本が元気になる鍵となります。

男女共同参画週間展 女性の時代を拓いた小さな印刷物

市では、「おだわら男女共同参画プラン」に基づき、女性の社会参画に関わる課題を改善し、男女共同参画社会づくりを進めています。

男女共同参画週間に合わせ、女性の社会進出が著しく変化した1940-1950年代のポスターや印刷物を展示します。

この機会に、男女のパートナーシップについて考えてみませんか。

- 日時 6月15日（土）～30日（日）
（月曜休館）
午前10時～午後5時
（最終日は午後3時まで）
- 場所 おだわら女性プラザ
（音羽プラザビル2階）

i 6月は土砂災害防止月間 日頃の備えと早めの避難

問 建設政策課 ☎ 33・1529

今月から梅雨に入り、雨が
多い季節になります。近年は
「ゲリラ豪雨」と呼ばれる局所
的に短時間で多く降る雨も増
えています。

雨が多く降ると、土砂災害
が発生しやすくなります。

土砂災害には、地中に水が
しみ込み、土の抵抗力が弱く
なることなどで起こる「がけ
崩れ」や、多量の岩石や土砂
が流水に運ばれる「土石流」
などがあります。

いずれの土砂災害も突発的
に発生します。自宅付近に斜
面がある場合は、災害を想定
し平常時に状況を確認し、大
雨の時には近づかないよう
にしましょう。

がけ崩れや土石流は、発生
してから避難することが困難
ですが、早めに避難すること
で災害を回避することができ
ます。

自宅付近でがけ崩れが発生
するおそれがある場合は、が
けと反対側の2階以上の部屋
に在るだけでも安全度が高ま

るといわれています。

雨の影響で土砂災害が発生
しやすくなると「土砂災害警
戒情報」が発表されます。気
象情報に注意しましょう。

● 国土交通省では小中学生を
対象に「土砂災害防止に関
する絵画・作文」を募集し
ています。

HOME PAGE
「国土交通省」土砂災害
防止月間」で検索



住宅に流れ込んだ土砂
(4月7日小竹にて)

i 「風しん予防接種」費用の一部助成 予防接種で感染予防を

問 健康づくり課 ☎ 47・0820

県内で風しん患者が増加し
ています。妊娠初期の妊婦が
風しんに感染すると、出生児
に「先天性風しん症候群」を
発生するおそれがあります。

市では、風しんの感染予防
に効果のある予防接種の費用
の一部助成を実施します。

期間 5月15日

平成26年3月31日まで

対象 本市に住民登録のある19歳

以上(平成6年4月1日以前生
まれ)で、風しんにかかったこと
のない、または風しん予防接種
を2回接種していない次のかた

● 麻しん風しん混合ワクチン
(MR) 8000円
ともに別途自己負担があります。
申し込み取扱医療機関に直接
※ 妊娠しているかたは予防接種を
受けることはできません。

i 小田原の木材を使い、リニューアル 市役所の総合案内

問 農政課 ☎ 33・1491

市役所2階総合案内は、市
内の間伐材などを用いて装い
が新たにになりました。材料に

掛けた棟梁の芹澤毅さんが制
作しました。

は、市内の「ひのき」(樹齢60
年)、一夜城の「さわら」(樹齢
70年)、小田原城の「まつ」(樹
齢300年)、箱根の「すぎ」
(樹齢400年)の間伐材や風
倒木が使われ、木のぬくもり
が感じられます。

小田原は、箱根地域の森を
背景に「木の玄関」としての
役割を担ってきました。木工、
漆器、寄木などの伝統木工や、
要人の別邸などに代表される
近代木造建築などで「木の文
化」が花開き、高い技術が磨
かれてきた場所です。

全体のデザインをデザイ
ナーの伊藤陽子さんが担当。
地元の製材工・大山謙司さん
と小田原城住吉橋の修復も手

市では「木の文化」を広く市
民のかたや来訪者に伝えよう
としています。

また、地域の森林・林業・



小田原市役所 2階 総合案内

木材産業の再生のために、小
田原の歴史と風土を物語る郷
土の木を積極的に使いながら、
森や木をより身近に感じても
らう取り組みを進めます。

ケアタウンの輪

地域全体で支え合う
ケアタウンおだわら。
各地区の皆さんの声をお届けします。



富水地区西北ブロックのお茶会。地域をブロックに分けることで、参加者同士のきずなが深まります。

富水地区
まちづくり委員会健康福祉分科会 会長
柳井由美子さん

芝居、DVD上映、健康講話など毎
回工夫を凝らしています。分科会の
会長の柳井さんは、「参加者と一緒
に楽しんでるんですよ」と話しま
す。「今度も一緒に参加しようね」
と声を掛け合う高齢者も増え、地域
の事業として定着してきています。

また、年2回開催する「健康ふれ
あいウォーキング」は約100人が
参加する人気事業です。世代を超え
て一緒に歩くことで、住民同士のき
ずなが深まっています。

富水地区では、このような取り組
みを重ねることで「みんながふれあ
うまち」の実現を目指しています。

「水と緑 みんながふれあうまち富
水」を合い言葉に、まちづくりを進
めている富水地区まちづくり委員会。
富水地区のケアタウンは、この委員
会の健康福祉分科会が担っています。
地域を4ブロックに分けた「お茶
会」では、高齢者のかたがたに楽し
いひとときを過ごしていただき、顔
の見える関係づくりを目指してい
ます。



柳井由美子さん
富水地区まちづくり委員会
健康福祉分科会会長
「子育てひろば」や「お茶会」などに
積極的に取り組んでいます。

今月の笑顔



よみきかせグループ ずずの会 代表
しおねり
塩練雪子さん

**本があり、
仲間がいて、
喜んでくれる
子どもがいるから**
文部科学大臣表彰受賞

地域の子どもに本に親しんでもら
おうと、読み聞かせ活動をしている
「ずずの会」が、子どもの読書を推
進する活動が顕著に優秀と認められ、
文部科学大臣表彰を受賞しました。

「小田原には読み聞かせグルー
プがなかった。いっそ自分が始めてみ
よう」と、昭和55年、代表の塩練さ
んが市立図書館で月2回の読み聞か
せを始めました。読み聞かせの草分
け的な「ずずの会」は、33年間の活
動で読み聞かせの輪を広げ、今では
他のグループのかたと交流する機会
もあります。

「たくさん本の本に囲まれ、一緒に
活動する仲間がいる。そして何より、
喜んでくれる子どもがいることが活
動の励み」と、現在16人の会員で図
書館での読み聞かせの他、幼稚園や

小学校への出前お楽しみ会、地域の
大学生に読み聞かせの指導をするな
ど、活動しています。

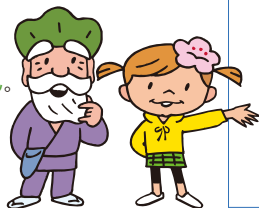
「読み聞かせは気持ちが大変。心
を込めて読むことが一番伝わる。自
分が楽しみながら、気張らずに活動
していきたい」という塩練さん。本
好きの親子が増えるよう、「ずずの
会」の活動は続きます。



表敬訪問のようす

うめか
梅花ちゃん
くろまつ
黒松おじいさんの
社会科見学 連載

好奇心旺盛な梅花ちゃんと、
優しくて物知りな黒松おじいさん。
二人が市内の事業所や
工場を訪ねます。



3 見玉化学工業の巻

見玉化学工業株式会社 西湘工場
所在：羽根尾510-1(西湘テクノパーク)



樹脂加工メーカーの見玉化学工業は、昭和21(1946)年に創業し、各種プラスチック部品を製造しています。国内外に8か所ある工場の一つが西湘工場で、自動車部品を中心に製造しています。



今回は、曽我肇さんに案内していただきました。

1 広い工場に、大きな機械がたくさん!

合成樹脂を溶かして金型に流し、形にする機械が並んでいるんだ。成形時に製品に応じて850トンから3,000トンの高圧力をかけるから、圧力ごとに機械が分かれているんだよ。



「射出成形」と呼ばれる方法じゃぞ。

4 じゅうたんのようなものがあるよ。

植物性のジュートという繊維と合成樹脂からできた原材料だ。



非常に軽い
素材なんじゃ。

2 すごい鉄の塊だね!



これが「金型」だよ。製品の形に応じたたくさんの金型が並んでいるんだ。金型を付け替える度に製品に誤差が出ないように厳正な品質管理をしているよ。



5 機械の中で形になっていくよ!



原材料に熱を加えるといろいろな形になるんだ。これは、トラックの天井の内装に使われているよ。金型を使わずに製品を作ることができる機械なんだ。



3 車のドアのようなものが下りてくるよ!

トラックのドアの内張りだよ。金型に流れた合成樹脂が固まって形になって、取り出し機で運ばれてきているんだ。1日にトラック700台分を作っているよ。



次のドアが運ばれてくるまで、たったの58秒じゃ! 速いのう。



トラックは毎日のように見掛けるけど、その部品がどんなふうになられているかなんて、今まであまり考えなかったなあ〜。

注文に応じた金型を作りさまざまな自動車の部品が作られているね。多様な部品を作ることができるのは、高い技術力があるからなんじゃぞ。



私のおススメ ★ あなたのおススメ

3

連載

ぜひ伝えたい「私のおススメ」、知ってうれしい「あなたのおススメ」。皆さんからの投稿をもとに、小田原の「おススメ」情報をお届けします。

今回は、いただいた投稿を基に、早川駅から出発し、石垣山を登り、一夜城歴史公園などを訪れるコースを取材した「おススメ」をご紹介します。「私のおススメ☆あなたのおススメ」では、引き続き、皆さんからの投稿をお待ちしています。

「ハイキングコース」も、まだまだ募集中です。リフレッシュ＆リラクックスできるおススメコースを教えてください。

投稿をお待ちしています!

採用されたかたには粗品をプレゼント!

募集テーマからテーマを選び、あなたのおススメを投稿してください。

【投稿方法】

①募集テーマ、②あなたのおススメとその理由、③氏名、④住所またはお住まいの地区、⑤電話番号を書き、可能であれば写真を添えて、郵送、ファクスまたはホームページから投稿してください。

〒250-8555 小田原市広報広聴課

「私のおススメ☆

あなたのおススメ」係

☎ 33-1261 FAX 32-4640

【募集テーマ】

- 小田原珍風景
- ハイキングコース
- 小田原の夏を感じる風景
- 小田原の秋を感じる風景
- 大好きな小田原の味

ハイキングコース

今回のテーマは「ハイキングコース」。

いつもより長く歩きながら景色や会話を楽しむハイキング。

小田原の風景、季節の移ろいを知るだけでなく、一緒に歩く人のこと、また自分自身のことの、新たな発見が得られるかもしれません。

お友達と、ご家族と、本格的な梅雨に入る前に、晴れた日を見付けてゆっくり歩いてみませんか。

早川駅～ 石垣山一夜城歴史公園



車で行けばすぐですが、晴れた日にゆっくり歩いて登るのもいいものです。坂を登るのはしんどいけれど、振り返るたびに広がる景色に感動します。公園で、ゆっくりするのもよし。少し休んで下りてきて、早川駅近くで魚とビールをいただくのもまた、私の楽しみです。(酒匂のK・Sさん)



3 石垣山一夜城歴史公園

休日には、親子連れがお弁当を広げたり、多くの人がお散歩♪ 平日、時間によっては、広い公園を独り占めもできるかも!?

一夜城歴史公園の入り口から、450mほど進み、右手にそびえ立つひととき大きな古木。



スタジイの古木 4

江戸城の石垣を造るための石を切り出した「石丁場」の跡。重機も車もない時代に、切り出された石は早川を下り、相模湾から遠く江戸まで運ばれました。



5 早川石丁場群



1 一夜城歴史公園までの 上り坂から眺める市街地

小田原城、見付かりますか?



あっ、ちょうちん灯台だ!

2 途中の上り坂を左に寄り道。 少し歩き、見下ろす小田原漁港